

# 島根県立 吉賀高等学校

小さな学校で、  
大きな夢を。

学校案内 2024

Y O S H I K A H i g h S c h o o l

# 個性と感性を磨く、学び舎



## 地域に暮らして、豊かな生き方を考える

日本屈指の清流・高津川の源流があり、豊かな自然に囲まれた吉賀町。清流の上流にあるからこそ自然を大切に生きようという地域の人々の想いがあります。吉賀高校はそうした吉賀町にある唯一の高校。地域の子もたちと全国から真の豊かさを求める子どもたちが一つの小さな学校に集まって、勉学やスポーツに、生き生きとした毎日を過ごしています。そして、地域の人々は子どもたちを温かく見守り、応援しています。

—— 吉賀高校は吉賀町と共に生きる高校です。



## 吉賀地域中高一貫教育＋ 全国から真の豊かさを求める生徒たち

吉賀地域は、町内の3つの中学校と連携する中高一貫教育（連携型）の高校です。そして、平成27年度から、町外・県外からの生徒の受け入れを積極的に始めました。

県内の吉賀町以外、また全国から新たな吉賀生が着実に増えています。

## サクラマスプロジェクト

サクラマスは、サケ科の魚ですが、川で誕生した後、海に下って大きく成長し、やがて川に戻ってきます。

吉賀町は、保・小・中・高が連携して町全体で、「サクラマスプロジェクト」に取り組んでいます。令和2年度より第二期を迎え

『地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる生徒』

『地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う生徒』

『地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる生徒』

『地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける生徒』の育成を目指しています。

また、川を町内とするなら、海は広く日本国中を、あるいは世界を意味し、地域や全国から人がこの地に集うプロジェクトとしてさらなる広がりをすすめています。



# 夢への途は、ここにある



入学式



県高校総体



文化祭



体育祭



遠足



東京研修（大学生交流）



東京研修（東京ディズニーランド）



田んぼの生き物調査

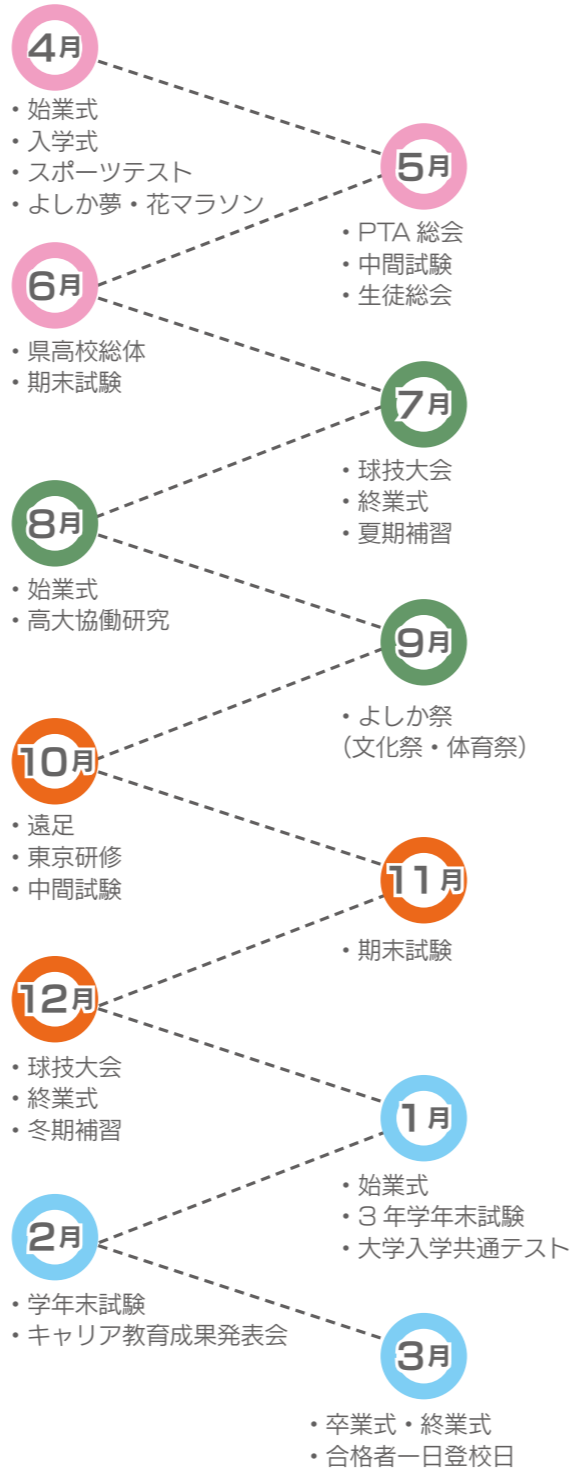


吉賀町フェアでの販売



吉高ライスバーガー

## 年間行事



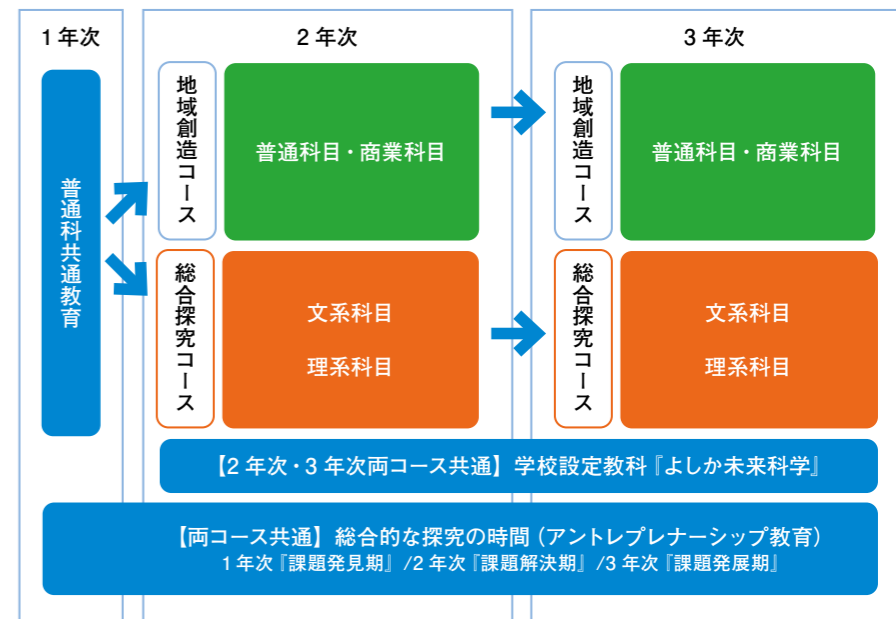
## 学習クラウドサービス「スタディサプリ」採用

本校ではインターネットを利用して、普通の授業や生徒指導などをサポートするため「スタディサプリ」というサービスを導入しています。スマートフォンやタブレット、パソコンなどを利用して学習環境を広げ、家庭学習の効率化を図っています。自分の都合に合わせて、苦手分野や予習・復習したい分野を、小学校の内容から高校の内容まで自由に視聴することができるので、基礎学力の向上につながります。

新型コロナウイルス感染防止に係る臨時休業期間中では、生徒の体調管理や、生徒からの質問等の対応も行いました。

## 少人数指導

授業は、1年次から英・数・国を中心に習熟度別に行っています。さらに、2年生からは進路希望によって2つのコース（コース選択図参照）に分かれます。そして、希望者を対象に個別添削指導にも力を入れていて、少人数指導で学力の向上と進路実現を支援しています。英語や数学がずっと苦手だった生徒が、少人数クラスの授業の中で学ぶ楽しさを知ります。大学進学をめざす生徒には、進路に合わせた指導を行います。



## 公設塾「よしか塾NEXT」

高校と一体になって吉高生の進路実現を支援する、吉賀町設立の公設塾です。自学自習のサポートの他、勉強方法の相談を受けることや、学習計画を一緒に立てることも行っています。

塾のスタッフが高校の授業のアシスタントを務めるなど連携して吉高生の学びを支えています。



# 自分の可能性が見つかる



## 吉賀高校 サクラマスプロジェクト ランドデザイン

1. 地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる
  2. 地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う
  3. 地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる
  4. 地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける
- 吉賀高校では、生徒のキャリア形成に資するため、保小中高とつながる吉賀町サクラマスプロジェクトと連動し、上記4つの力を身につけられるような取り組みを行っています。普段の学習活動や、学校行事、進路活動に加え、アントレプレナーシップ教育などを通じて、吉賀町をフィールドとして、吉賀町の「人・もの・こと」とのコミュニケーションをとりながら、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現する力を身につけていきます。



## 1年生：アントレプレナーシップ教育【課題発見期】 + 東京研修

アントレプレナーとは、「起業家」を意味します。「起業家精神に学ぶ」をテーマとして、「無から有を創り出す精神」を学びます。そして、1年次を「課題発見期」と位置づけ、地域の方に学びながら、地域の課題について探究します。

10月の東京研修では、東京で生活する大学生とコラボレーションします。グループワークや企業訪問を通じて都市の生活を探究すると共に、地方と都市の関係性について考え、自分たちの生まれ育った町・自分たちが暮らす町を見つめ直します。



## 2年生：アントレプレナーシップ教育【課題解決期】

2年生のアントレプレナーシップ教育では、1年次に学んだ吉賀町の魅力や課題をもとに、「未来を創る」プロジェクトを本格的にスタートさせます。「未来を創る」プロジェクトとは、①「こうなしてほしい未来」をイメージし、②個人またはチームで吉賀町の人々とともに行動を起こし、③現実を動かすための挑戦をすることによって、「未来を創る」取り組みです。この「願って、作って、動かす」というプロセスを通して、「自分自身の未来を創る力」を育みます。地元の方と直にふれあひながらのディスカッションや主体的なアクションを大切に、地域貢献の意識を高め、思考力・表現力・コミュニケーション能力などを磨いていきます。



## 3年生：アントレプレナーシップ教育【課題発展期】

豊富な体験学習の経験を基に、自らのキャリア形成に取り組みます。自分の進路を考え、希望を実現する上で、「無から有を創り出す」起業家精神が十分に活かされます。さらに、アントレプレナーシップ教育の集大成として、個別のプロジェクトをさらに進め、7月に最終発表会で全員が3年間の学びをまとめ、発表します。

また12月は「サクラマスとーく!」と題し、高校生と吉賀町内の小学生と一緒に、自分のキャリアや今後の将来像について語り合います。

例えば、アントレプレナーシップ教育の成果発表会。吉賀高校では、全員がプレゼンを行います。小規模校だからこそ、全員が主役になるのです。授業でも、行事でも、部活動でも、全員に何らかの活躍の場が与えられます。人間の可能性は、挑戦してみなければわかりません。一人ひとりが、自分の可能性を発見し、成長していく。吉賀高校はそんな学校です。



## 吉高生は、全員が地域クラブ員

吉高生は、全員が地域クラブ員であり、地域の様々な行事に、運営側として参加します。『よしか夢・花マラソン』、『田んぼの生き物調査』、『七力祭』、『きん祭みん祭農業文化祭』・・・いろいろな行事で運営体験やボランティア体験を積み、生きる力を伸ばしながら、地域の方とふれあひます。

## 環境教育

2・3年次の学校設定教科『よしか未来科学』では、森・川・海、それぞれの専門家から、フィールドワークを交えながら、日本有数の清流・高津川流域を始めとした環境問題について学びます。

また、地域クラブでも特別チームを組み、課外活動として、地域の環境問題について調査研究を行っています。



「アントレプレナーシップ教育」、「地域クラブ」、「環境教育」、そして学習や行事や部活動・・・  
吉賀高校は、学校でのすべての活動が生徒のキャリア発達につながると考えています。それが、「小さな学校で大きな夢を!」の具体であり、「サクラマスプロジェクト吉賀高校ランドデザイン」に描かれています。



# 自分を磨くさらなるステージへ

## 合格先一覧

### ◎4年制大学【国公立】

○島根大学 ○島根県立大学(2) ○静岡県立大学

### ◎4年制大学【私立】

○日本大学 ○静岡産業大学 ○岡山理科大学 ○川崎医療福祉大学 ○就実大学 ○広島経済大学(2) ○広島工業大学(2) ○広島国際大学 ○広島修道大学(2) ○広島都市学園大学 ○広島文化学園大学(2) ○福山平成大学(2) ○比治山大学

### ◎専修学校 等

○島根県立農林大学校(2) ○岩国医療センター附属岩国看護学校 ○南大阪看護専門学校 ○岡山済生会看護専門学校 ○山口県高等歯科衛生士学院 ○穴吹デザイン専門学校 ○札幌デザイン&テクノロジー専門学校 ○東京モード学園 ○島根県立西部高等技術校

### ◎就職【民間】

○コガワ計画(株)Mランド益田 ○マツダ株式会社 ○山崎製パン株式会社 ○西中国信用金庫 ○カワダ株式会社

### ◎就職【公務員】

○自衛隊 ○益田広域消防本部

## 令和4年度 卒業生進路状況

◎進路状況(令和5年3月31日現在)

進学：大学18名 専修10名  
就職：民間6名 公務員2名



## 2023年春 卒業生

# 合格体験記

### 自分と向き合うこと

私は島根大学に「へるん入試」で合格しました。へるん入試とは、言い換えると総合型選抜のことで、受験生の探究心と好奇心を重視しています。私は最初、島根に残るつもりはなく、近くの山口や広島に行こうと考えていました。しかし、3年次のアントレで地域の方とお話したときに、「若者が島根を、吉賀町を盛り上げてほしい」という声を聞き、島根に残ろうと思いました。その決



泉友梨香 島根大学 生物資源学部

意を胸に面接練習などに取り組みましたが、大学に入ってから具体的にやりたいことが自分自身曖昧で決めかねていました。そこで、多くの先生方に相談に乗ってもらい、卒業後のビジョンを明確にしていきました。

本番では、予想していなかったこともありましたが、これまでのアントレの発表などで身につけた力を活かしてやりきりました。私にとっての受験は、自分の心と

向き合うことでした。選択肢が多い時代だからこそ、自分はどの道が合っているのか、どういうことがしたいのかなど、本当にたくさん自分の心に問いかけました。その中で、私はアントレが進路の決定のきっかけでした。

まだ進路が決まっていない人も、すでに決まっている人も、ぜひ、これまでにないくらい自分の心も向き合ってみてください。

### 頑張る時はいつも今

私は、幼い頃から目標にしていた消防士になるという夢を叶えました。採用試験を受けるにあたり、1年前から徐々に1次試験の勉強を始めました。学校の授業の内容とは異なる内容が多く、とても驚きました。毎日コツコツ過去問題や問題集を解くうちに、分かる問題が増えていきました。また、先生方には毎日問題を出題してもらい、翌日一緒に添削をしていただきました。2次試験の面接練習もたくさんの先生方からお願いし、何度も練習をしました。



齋藤 泰稀 益田広域消防員

一人で勉強をする強い意志を保つために周りの方の力を借り、自分自身を鼓舞していました。たくさんの方が自分を応援してくれていることを実感すると、その方に対する感謝の気持ちが芽生え、自然と勉強に対してのやる気や絶対に合格するという気持ちもさらに強くなりました。たくさんの方の協力のもと自信を持って受験することができたため、私の夢を叶えることができたと思います。

吉賀高校は、1人1人に対してのサポートが厚く、進路で不安な

こと、分からないこと、悩んでいることがあっても先生に相談してみると親身になって聞いていただける温かい環境があります。

これから受験する人は不安や悩みもあると思いますが、1人で抱え込まず、この環境を活かし夢を叶えてください。私もこの地域に貢献する消防士になれるよう頑張るので皆さんも頑張ってください。応援しています。

### 自分なりの1歩

私は初め、自分のしたいことがよく分かりませんでした。やりたいことも分からないまま先の見えない進路を決めるということは私にとっては苦しかったです。しかし、少しずつ自分の状況を理解し、自分自身についても考え、周りの支えがあって今の就職先を決め、内定を頂くことができました。

就職先を決めるために、私は様々な会社の企業見学へ行きました。初めは地元である益田市内の仕事場を探し、安定を重視していました。そんなとき、以前から興味があった食に関する県外企業の職場体験へ行ってみ



奈内 恵里 山崎製パン株式会社

した。そこで今の自分としっかり向き合い、自分のワクワクする方へ行きたいと思い、その企業に挑戦することに決めました。

吉賀高校でおこなったアントレプレナーシップ教育は就職活動においても良い影響があったと思います。この活動を通して、挑戦することの喜びや自分の強みを知り、就職活動に活かすことができました。さらに、面接練習を先生方をお願いしました。初めは上手く話すことができず不安でいっぱいでした。それでも先生方が一緒に悩んでくださったり、コツを教えてくださいました。最後の面接練習は自分の納

得のいくものとなりました。そして、本番の面接では私の長所でもある素直さをしっかりと伝え、自分らしい面接ができたと思います。アントレプレナーシップ教育でおこなった経験も強みとして話すことができとても嬉しかったです。一緒に活動してくださった方々や就職活動に真剣に向き合ってくくださった方々のことを思い出して感謝の気持ちでいっぱいとなりました。

周りの様々な人に支えてもらって今の自分があると思います。本当に吉賀高校に来てよかったと思います。ありがとうございました。

# 自身を、マインドを磨く、部活動

少数精鋭の部活動は、新たな自分の可能性を発見するチャンスです。  
また小規模校ながら文化系のクラブも多彩で、生徒はいきいきと部活動に励んでいます。



## サッカー部（男子）

吉高サッカー部は素晴らしいサッカーファミリーと共に、「将来、日本のサッカー文化に携わることのできる footballer」を目指して日々活動しています。



## ソフトテニス部（男子・女子）

私たちの目標は、中国大会出場です。これからも地域の方により報告ができるように精一杯頑張りたいと思います。応援よろしくお願ひします。



## バレーボール部（女子）

部員が高い意識を持ち、高いレベルを求め活気ある練習を行っています。地域とのつながりを大切に、応援していただけるようなチームを目指して頑張っていきます。



## 陸上競技部（男子・女子）

「0.1秒でも速く走る」「1cmでも多く跳ぶ」・・・  
こんなシンプルでいて、とても難しい目標を乗り越えようと、生活の中の1つ1つの取り組みを大切にしながら、日々努力を重ねて活動しています。



## バレーボール部（男子）

“石見地区優勝”を目標に、基礎・基本を大切に一生懸命頑張っています。「感謝」と「楽しむ」をキーワードに恩返しできるように精一杯取り組んでいます。

吉高生全員が地域クラブ員です。その中のリーダーを中心に、地域のイベントでのボランティア活動や、ライスバーガーの制作・販売を行っています。近年では、アントレともコラボしながら様々な活動を展開しています。さらにeスポーツ分野、かるた分野、硬式テニスなど活躍の幅を広げています。今後も多くの出会いや経験を通して、地域活性化に貢献していきます。



## 音楽部

バンド演奏を中心に、地域のお祭りや学校行事などで発表する場があり、地域の方々のご指導ご支援のもと活動しています。



## 美術部

絵画や粘土、針金などの立体作品など色々な作品に取り組んでいます。とても楽しく活動しており、各自が納得のいく作品を制作するため頑張っています。



## 茶道部

学校でのお点前のお稽古だけでなく、茶畑の見学やお茶づくり体験など、幅広く活動しています。楽しく、気軽に日本の伝統文化を学ぶことができます。



## 写真部

「撮りたいときに、撮りたいだけ撮る」を方針に掲げ、活動しています。初心者が多い中、コンクールや高校写真展においては入賞もあり日々成長を続けています。



## 華道部

毎回楽しくお花を生けています。生けた後は、自宅や学校に飾ります。水切りなどの専門的な技術や、お花の形を活かした活け方を学びながら、センスを磨いています。



## 文芸部

俳句や詩、小説など自分で好きな作品を創作します。週に2、3回、図書室に集まって各自創作活動を行い、その時に情報交換や作品の鑑賞もします。作品は自分の好きな時に家でも作ることができるので、自分のスタイルに合わせた活動ができます。

## 地域クラブ



かるた



テニス



eスポーツ

# 合言葉は、吉高に「よし！行こう」

# 「小さな学校」の多様な学び、 「大きな夢」への自己成長

校長 勝部 千良

## 新入生からのメッセージ

桑原 翠 [吉賀町出身 六日市中学校]



私が吉賀高校を選んだ理由は、アントレプレナーシップ教育があることです。アントレプレナーシップ教育は起業家精神を鍛える授業で、吉賀高校では吉賀町のために何ができるのかを考え、その考えたアントレプレナーシップを高校時代に取り組んでいきます。

私はアントレプレナーシップで何をやるかはまだ決めていませんが、今までお世話になったこの吉賀町に恩返しをしたかったのが吉賀高校を選びました。

また、私が吉賀高校に入学してみて、先生方や先輩方がすごく優しく、いろいろな不安が消えていきました。特に、部活動の体験入部の際に体調が悪かった私を、先輩方が優しく気遣ってくれたことが印象に残っています。さらに、少人数の高校なので、先生が授業中、一人一人をしっかり見てくれるので、分からないところはすぐに教えてくれます。そんな吉賀高校にぜひ入学してください。

守田 陸人 [山口県出身 萩西中学校]



僕が吉賀高校を選んだきっかけは、サッカーの練習試合で吉賀町にある『よしかみらい』に何度か訪れたことがあり、その近くに吉賀高校があるということを教えてもらい、オープンスクールに参加させていただいたことです。そのとき、先輩方に優しく接してもらい、サッカー部がある高校を希望していたので、吉賀高校を受験することを決めました。吉賀高校の良いところは地域の方々にご協力頂きながら、様々な体験をさせてもらっていることです。

僕が今頑張りたいことは、勉強とサッカーです。勉強は授業についていけるように毎日コツコツと頑張りたいです。部活では、高校サッカーのレベルに応じた戦術理解や、フィジカル・アジリティーの向上などに取り組みたいと思っています。

茅原 優斗 [吉賀町出身 六日市中学校]



僕は、自分の夢を叶えるためには吉賀高校がいいと思い、また、アントレ（アントレプレナーシップ教育）を体験したいと思って、吉賀高校を受験しました。入学してみると、部活動の種類もいろいろあって良かったです。校内もきれいで過ごしやすいです。制服も気に入っています。

吉賀高校の授業は復習も取り入れて行ってくれるので、分かりやすく授業を受けることができます。他にもバス代の補助などの制度もあるので安心できます。僕は将来、看護師になりたいのでしっかり頑張りたいです。昨年の卒業生で看護学校などに進学した生徒がいたので、僕も目指したいと思いました。勉強は中学校のときよりも授業スピードが速いので、しっかり授業を聞いて、家に帰ってから予習や復習をするとテストで良い点が取れると感じました。ぜひ、吉賀高校に入学してください。

樽井 将斗 [兵庫県出身 東谷中出身中]



私は生徒の数が少ないので、先生が勉強等ひとり一人をしっかり見てくれるので吉賀高校に行きたいと思いました。クラスの人数も少ないので、入学してすぐにみんなと仲良くなれて良かったです。また私は寮から学校に通っていますが全く不便さを感じていません。

寮の先輩は優しいですし、何より寮のご飯は栄養士の方が考えてくれるバランスの良い食事であまり美味しいです。ご飯のメニューがリクエストもできるの嬉しいです。

寮は点呼が朝1回、夜2回あり、規則正しい生活習慣が身につきました。寮で生活するようになって入学する前よりいろいろな面で成長できたと思います。

清流・高津川の源流の町であり、水とすむまち・吉賀町にある吉賀高校は、開校以来75年の伝統を築き、およそ4500名の卒業生を社会に送り出してきました。吉賀町内の3中学校（柿木・吉賀・六日市中学校）と連携型の中高一貫教育を行っていること、地域や首都圏の大学と連携して「アントレプレナーシップ教育」を進めていること、そして県外からの生徒募集を積極的に行っていることが本校の大きな特徴です。今春は、35名の新入生（そのうち県外生7名）を迎えました。2年生32名、3年生31名と合わせて98名（そのうち県外生22名）の生徒で今年度をスタートしています。



吉賀高校は、「至誠（まじめに）・創造（あらたに）・努力（ひたむきに）」を校訓とし、「小さな学校で 大きな夢を！」を合い言葉に、小さな学校だからできること（生徒一人ひとりに役割があり、生徒一人ひとりにスポットライトが当たる教育）を大切に、

教育活動に取り組んでいます。

主に県外・町外からの生徒が生活する寄宿舎については、町営の「サクラマス交流センター」が設置されており、全室個室（バス・トイレ付き）、そして地元の食材を使った食事という恵まれた環境の中で、落ち着いた生活を送ることができています。さらに、吉賀町の支援により今春より「よしかみらい交流センター」という2つめの寄宿舎の運営が開始されました。

また、学校近くには公設塾「よしか塾 NEXT」があり、1～3年生の希望者全員が、高校の授業や各種試験などに向けて指導を受けることができます。その他にもバス通学補助や部活動遠征のための振興会バスなど、吉賀町からの大きなバックアップのもとで、充実した教育環境が整っています。

吉賀高校は「小さな学校」での多様な学びの経験を通じて、すべての生徒が「大きな夢」を見つけ、育て、実現し、そして自己成長できる学校を目指しています。

## サクラマスコーディネーター

吉賀高校のサクラマスコーディネーター（魅力化コーディネーター）は、吉高生の皆さんの学校生活が少しでも充実した時間になるよう、様々な場面で地域と学校を繋ぎます。吉賀町役場の職員ですが、主に高校や交流センター・地域活動の場面などで動いています。吉高生の皆さんにとって、吉賀町のヒト・モノ・コトを感じながら、卒業後の未来に向けて頑張ることのできる高校生活になるよう、生徒の皆さんと一緒に生活や活動を創っていきます！



## モニュメント「翔」

正門左にあり「東京スカイツリー」のデザインを手掛け、令和2年に文化勲章を受賞された吉賀町名誉町民澄川喜一氏により、吉高創立50周年記念として制作されました。校章のモチーフである若鮎を力強くシャープに表現しています。



## 学校沿革

- 昭和 23 年 島根県立益田農林高等学校七日市分校および柿木分校として設置認可（定時制課程）七日市村役場の1部を仮校舎として開校。
- 昭和 38 年 島根県立益田産業高等学校より分離独立し、島根県立吉賀高等学校および同校柿木分校として設置  
校歌制定・作詞は当時松江南高等学校長の本木俊太郎先生、作曲は島根大学の森山俊雄教授  
若鮎をデザインした校章制定
- 昭和 47 年 校訓碑建立、学校庭園完成
- 昭和 48 年 寄宿舎竣工「盛岳寮」と命名
- 平成 2 年 校舎竣工式、創立40周年記念式典挙行、バラ園造成
- 平成 9 年 制服改定（本年入学生より学年進行）  
海外研修旅行（シンガポール）決定
- 平成 13 年 屋内運動場竣工
- 平成 13 年 創立50周年モニュメント設置  
中高一貫教育（連携型）本格導入（対吉賀中学校）
- 平成 15 年 中高一貫教育（連携型）本格導入  
（対蔵木中学校・六日市中学校）

- 平成 18 年 中高一貫教育（連携型）本格導入（対柿木中学校）
- 平成 23 年 サクラマスプロジェクト開始
- 平成 24 年 1年生東京研修開始
- 平成 27 年 キャリア教育成果発表会開始
- 平成 28 年 全国高校生自然環境サミット in 吉賀 開催  
全日本ユース(U-18)フットサル大会出場  
ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会出場
- 平成 29 年 サクラマス交流センター竣工  
公設塾「よしか塾 NEXT」開設  
青学大・法政大と高大協働研究開始
- 令和 2 年 第5回全国高校生SBP交流フェア参加 特別賞受賞
- 令和 3 年 「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト佳作受賞
- 令和 4 年 高知インターハイ出場（女子テニスシングルス）  
いちご一会とちぎ国体出場（少年女子テニスの部）
- 令和 5 年 第15回キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰受賞  
全国選抜テニス大会出場（女子個人シングルス）

# 吉賀町の力強い支援



吉賀高校は地域の学校として吉賀町や多くの組織から力強いバックアップを受けています。また、寮機能を重点とした「サクラマス交流センター」や、吉高生の進路実現の支援のための公設塾「よしか塾 NEXT」を開設。

中山間地の魅力ある高校のために、住環境や学習支援をさらに充実させています。

## 吉高支援室

吉賀町役場総務課内に吉高支援室が設置されています。高校と連携して、物心両面で吉賀高校の教育活動を支えます。

## 公設塾「よしか塾 NEXT」

吉賀高校と一体となって、吉高生の進路実現を支援します。

## バス通学補助

路線バスを利用して通学している吉高生の希望者に回数券を補助しています。バス通学の費用はかかりません。

## 「吉高線」の運行

部活が終了する時間帯に路線バスの運行がないために、吉賀町の働きかけで吉高線が運行されています。

◎19:20吉高前発

(冬季は19:00発)

◎六日市方面と柿木方面の2路線

・基本的にできるだけ自宅近くまで送り届けます。

## 吉賀高校振興会・振興会バス

部活動の遠征等では、振興会バスを利用することができます。バス運行経費、補修費、運転手の賃金、宿泊費等は、ほとんど振興会を通して町が負担します。この他、進路指導や生徒活動も振興会が支援しています。

## 東京研修補助

3泊4日の東京研修のために、町からたくさんの補助をいただいています。

## キャリア教育・地域クラブへの協力

吉賀高校のキャリア教育や地域クラブの活動は、吉賀町の町民の皆さんの協力によって成り立っています。

## サクラマス コーディネーター

吉賀高校の魅力化コーディネーターは、町の職員です。

## 吉賀町の子育て支援

吉賀町では、高校への支援の他に、平成27年度から給食費・保育料が完全無償化されました。そして吉賀町の住民であれば、医療費も高校卒業まで全額助成されます。

## 人工芝サッカーグラウンド「よしかみらい」

サッカー部は日頃の部活動で、町営のサッカーグラウンドを使用させていただいています。



# 吉賀町が運営する宿泊施設をご紹介します！

## サクラマス交流センター



### 全室個室 (16室×2)

全ての部屋が個室で、バス・トイレ付きです。ロフト形式のベッドがあり、学習机、椅子、クローゼットも備え付けです。

### 費用 (令和5年度)

舎費 月額¥33,000 + 水道・光熱費

食事 1日3食(昼食は弁当)

※くわしくは吉賀高校ホームページにて



## 交流室

交流室は、食堂も兼ねています。学習時には、交流室で学習することもできます。

## よしかみらい交流センター

### 全16部屋 (1K×9室、2K×6室、3K×1室)

3タイプの部屋があります。各部屋にバス・トイレ・流し台・ベッド・学習机・椅子・衣装ケース付きです。部屋タイプ別に1~3人部屋となります。

### 費用 (令和5年度)

舎費 月額 ¥42,000 (水道・光熱費含む)

食事 1日3食(昼食は弁当)

※くわしくは吉賀高校ホームページにて







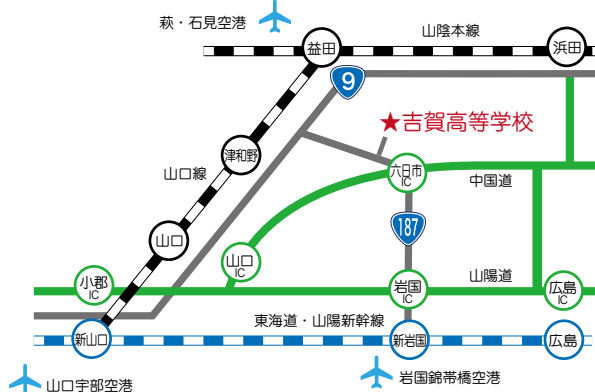
## 島根県立 吉賀高等学校

〒699-5522 島根県鹿足郡吉賀町七日市 937 番地

TEL.0856-78-0029 FAX.0856-78-0742

E-mail [yoshikakoko@pref.shimane.lg.jp](mailto:yoshikakoko@pref.shimane.lg.jp)

ホームページ <http://www.yoshika.ed.jp>



シンボルツリー「めたせこいあ」

昭和 29 年に本校柔剣道場横に植樹され、分校時代や吉賀高校として独立後の歴史を見てきました。まっすぐにまっすぐに成長する学校のシンボルです。